

第29回北日本医科学生オーケストラ 新型コロナウイルス感染対策

文責：大内啓史（実行委員長）

基本方針

- 体調がいつもと違う時は、休む（発熱・咳などがあつたら、隠さずに休む）
- 手洗い：共有物（みんなが触るもの）を触ったら、アルコールまたは石鹸で手を洗うこと
- フェイスシールドを活用し、顔（目、鼻、口）をなるべく触らないようにする
- マスク：話をする時はマスクを着用すること、着用できなければ人との間の距離を離すこと
- 換気：部屋の換気を適切に行なう
- 日々の健康管理は健康手帳にて行う

石鹸での手洗い、手指アルコール消毒が必要なタイミング

※手洗い場の混雑（密）を避けるため、以下の場面分けが必要！

石鹸（基本汚れを洗い落とす）	アルコール（菌やウイルスを死滅させる）
食事の前 トイレの後 練習後の片付け後	共用物（譜面台（特に調節ネジ）、鉛筆、イスの背もたれの上、スコア、打楽器すべて）に触れた後 セッティング終了時（椅子並べ、譜面台並べ、パーカッションセッティング） 楽器搬入・搬出作業の終了後 練習場所、本番会場集合時 楽器組み立て後 休憩に入るタイミング 練習終了時

アルコール消毒したほうがよいもの（日常・各場面共通）

アルコール消毒は、布などに吹き付けて拭いたほうが効果が高い

- 練習場 1日1回 練習終了後に下記の部分を消毒

譜面台（手が触れる部分：譜面を置く場所、ネジ）

練習場で使う机の上

ドアノブ、スイッチ（休憩後1日2回の消毒）

その他、みんなの手が触れる場所・もの：

共用筆記具、メトロノーム

（サビや故障が心配だったら、楽器と同じ扱いにして消毒はしない。その代わりに触った後手を洗う）

- 管楽器

楽器本体は消毒できないので、拭かない

マウスピースなどを共有する場合は、洗剤（ブラソープなど）で洗う

演奏時に生じる結露水の処理を所定の吸水シートで行い、演奏終了後、自身の手で所定のゴミ箱に廃棄する

他の人が吹いたリードをすぐに吹いてしまうと、感染リスクがあり。

● 弦楽器

松やに等を共有する場合は、使用後の手洗いが必要。

練習場における感染予防対策

- ・人との間隔はできるだけ2m（最低1m）あける⇒マスク着用なくとも（文科省基準）
- ・手洗い、アルコール消毒のタイミングは上記
- ・練習は原則貸し借りなし
- ・休憩は長時間を取って手洗い・アルコール消毒時間を確保する
- ・指導する場合は、2m以上離れて
- ・奏者間の距離：**管楽器 2.0m 弦楽器 1.5m**
- ・フェイスシールドはなるべく着用
- ・換気は30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する、2方向の窓を同時に開ける、扇風機、サーキュレーターの使用
- ・食事時にはなるべく話さない、机は向かい合わせにしない

合宿における感染予防対策（練習以外）

- ・合宿前2週間の健康確認（37.5℃以上の発熱、咳・喉の痛みなどの風邪の症状、倦怠感、呼吸困難、嗅覚・味覚の異常、濃厚接触の有無、感染が疑われる同居家族や身近な知人の有無、2週間以内の入国制限がされている国等への渡航、または当該在住者との濃厚接触）
- ・合宿責任者（実長）による行動の把握
- ・マスクの着用と咳エチケットの実践
- ・空気清浄機の使用（オプション）
- ・チェックイン時に検温
- ・部屋の換気はこまめに
- ・部屋でもできるだけ距離を保つ
- ・ドアノブや共用部位の消毒
- ・会話はできるだけ控える
- ・合宿中に発熱、強い倦怠感や息苦しさがある、咳、痰、胸部に不快感のある人は部屋隔離
- ・各部屋人数制限を設ける（定員-1 または-2）
- ・エレベータでは、話をしない。また密にならないよう、乗車は4~5名までとする。
- ・食事時はビニール手袋使用、水など飲み物は持参
- ・大浴場では、密にならないよう時間差入浴を心掛ける
- ・外出は1時間以内（毎日13時15分ごろバスを出す、これ以外の外出は許可しない）

本番の感染予防対策

- ・楽屋、控室でのマスク着用、距離を保つ
- ・楽屋での飲食の共有禁止

- ・水分補給のための飲料水の持参
- ・体調に異変があった場合はすぐにスタッフに報告
- ・会話はできるだけ控える
- ・楽器置き場、待機場所、楽屋はその場の換気条件に基づいて、その場に入れる人数を運営側が決める
- ・演奏していない時にマスク着用
- ・本番ステージへの整列は少なくとも1メートル、できれば2メートル開ける
- ・

<楽器ごと>

- ・弦楽器：1.5m間をあける。演奏中のマスク着用
- ・管楽器：2m間をあける。特にトランペットやトロンボーン、ホルンに関しては、飛沫感染のリスクを高めるデータがあるので、配置の変更やシェルターの設置等対策をする。
- ・打楽器：なるべく一人が一つの楽器を担当できるようにする。一つの楽器を複数人が担当することは避ける。使用後に手洗いを行う。

<観客>→観客に周知徹底！

- ・チケット販売時に連絡先の把握
- ・半券もぎりは来場者自身で
- ・誘導も早期の開場や時間差入場の対応をし、並ぶ際には1m以上の間隔をあける
- ・プログラムは自身の手で取ってもらう
- ・1席ずつあける、必要に応じて指定席のみにする
- ・マスク着用、咳エチケットへの協力
- ・大きな声での会話、飲食を控える
- ・入り口でアルコール消毒、サーモグラフィにおける検温
- ・来場前に検温をお願いする。37.5℃以上の発熱が続いている、咳・のどの痛みがある場合、過去2週間以内に感染拡大が続いている国・地域への訪問歴がある場合は、来場を控える
- ・公演中の出入りを自由とする
- ・トイレでのハンドドライヤー利用禁止
- ・ブラボー等の掛け声の自粛
- ・ドアノブ、座席手すりへの消毒の実施
- ・常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の流れ替えに努める
- ・退場時は分散退場とする
- ・終了後の出演者との面会禁止
- ・厚生労働省による「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」の活用を推奨

練習後、本番後

- ・観客との面会は禁止
- ・花束や差し入れの受理は行わない
- ・速やかに撤収し、解散する

- ・打ち上げや飲み会を控える

感染が疑われる人がでた場合の対応

感染が疑われる人とは、呼吸困難、高熱、強い倦怠感等の強い症状がある人、重症化しやすい人で、軽度の感冒症状がある人、軽度の感冒症状が持続する人のいずれかである。(=インフルエンザ様症状)

- 練習中や本番中に感染が疑われる人が出た場合
 - ・速やかに隔離し、帰国者・接触者相談センターへ連絡する
- 千葉県新型コロナ相談 (24 時間対応) : 0570-200-613
 - ・代表、コロナ対応係、パートリーダー、ステージマネージャーが対応し、その際のマスクの着用や手指消毒を徹底する
 - ・その日の活動はその時点で終了とする
- 練習がない日に感染が疑われる人が出た場合
 - ・該当者は速やかに帰国者・接触者相談センター等に連絡する
 - ・感染が疑われた時点から、帰国者・接触者相談センター等の対応が確定するまでの間に予定されている練習や本番は中止する
- 観客よりでた場合
 - ・速やかに隔離し、帰国者・接触者相談センター等に連絡する
 - ・代表、コロナ対応係、ステージマネージャーが対応し、その際のマスク着用や手指消毒を徹底する
 - ・公演後に保健所等公的機関による聞き込み、情報提供があった場合は、最大限協力する
 - ・主催者は観客の緊急連絡先等の入手に努め、公的機関の要請により素早くこれが提供できるようにする
 - ・個人情報について公的機関以外に提供せず、漏洩がないように厳重に管理し、公演の2週間後に破棄する

参考文献

- 1) 塚田訓久ほか. スクールバンドを中心とした吹奏楽活動における感染対策. [参照 2020. 09. 01].
<http://www.jas-wind.net/pdf/20200731COVID-19musiccultureprojectschoolband.pdf>
- 2) 一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会. クラシック音楽演奏・鑑賞にともなう飛沫感染リスク検証実験 報告書. [参照 2020. 09. 01]
<https://www.classic.or.jp/2020/08/blog-post.html>
- 3) 沖縄市. 沖縄市スポーツ合宿に伴う新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン (県外版) について. [参照 2020. 09. 01]
<https://www.city.okinawa.okinawa.jp/sp/userfiles/oki038/files/gaidorain.pdf>
- 4) 厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症対策本部 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針. [参照 2020. 09. 12]
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000620797.pdf>

5) クラシック音楽公演運営推進協議会. クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン. [参照 2020.09.12]

<https://www.orchestra.or.jp/information/uploads/330e088137145527402962276ff31c4ec1ce0b5e.pdf>

新型コロナウイルス対策 第29回北日本医科学生オーケストラフェスティバル

場所・階数	内 容	摘 要
ホテル玄関(1階)	<ul style="list-style-type: none"> ①検温 ②体調アンケート ③マスク励行 ④除菌消毒 	<ul style="list-style-type: none"> ○厚生労働省のアプリ 接触確認アプリを登録する。
(右の症状がある方)	<ul style="list-style-type: none"> ○体調が悪く、だるい! ○熱が37.5℃以上ある方 ○味覚がない ○臭いがない ○咳が出る。 ○吐き気がある。 ○鼻水が出る ○頭痛・のどの痛み ○下痢 	対処方法
フロント1階		A 疑われた場合 千葉県新型コロナ相談(24時間対応) <ul style="list-style-type: none"> ○心配の方は TEL0570-200-613 担当者が出る。 ↓ 担当者に症状の説明。 ↓ その指示の従う。 B 心配ないが念のため <ul style="list-style-type: none"> ↓ ホテル個室隔離をする。 (インフルエンザ・体調不良の方) ↓ 翌日、自宅に戻る。 (食事は部屋にお持ちする。)
エレベーター移動	<ul style="list-style-type: none"> ①中では話をしない。 ②密にならない。 ③先に高齢者にゆずる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○乗車は4名～5名まで。 ○マスクは励行する。 ○時間に余裕をもって移動を!
1階 主管ブース	<ul style="list-style-type: none"> ①一般受付と変更手続き ②ルームキー ③館内の過ごし方 ④名札の励行 ⑤部屋割 ⑥食事券 ⑦入金 ⑧マスクなどを受け取る。 ⑨健康手帳のない方再発行 	<ul style="list-style-type: none"> a) 健康相談コーナー ○体調アンケート提出 ○健康手帳確認(毎日記入を) ○マスクの励行⇒配布 ○体温計 ○ハンドジェル ○ビニール手袋⇒配布
客 室	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター乗車は少人数で乗車! ○マスクは外してOK ○手洗い ○うがい 	<ul style="list-style-type: none"> ○手洗いうがいの励行 ○空気乾燥に注意する。 ○換気をなるべくする。 ○ドアノブの消毒(各自が行う) ○空気清浄機を使用する。(希望者)

○1階 カトレア	会場は2ヶ所 1階カトレア・コンベンションホールタ風	○手袋を使用してトング・箸・スプーンを使用。
食事会場	1階コンベンションホールタ風 ①入り口で検温 ②除菌消毒 ③マスク確認 ④お水などの準備	○ジュースなどマシン使用時は手袋使用。 ○素手でなるべく触らないようにする。 ⇒使用したらジェルやおしぼり使用
○1階 タ風	○ビニール手袋を使用	○窓を時間で空ける。
4階コンベンションホール 合奏場 (tutti)	①入口にて検温 ②除菌消毒 ③マスク⇒忘れた人(渡す。) ④ソーシャルディスタンス (椅子の配置配置) ⑤飛沫を注意する。 ⑥マイクの消毒(専用マイク)	○ 37, 5℃以上ある方は遠慮いただく。 (客室待機) ○ 換気を十分する。
1階 大浴場	①入口にて検温 ②除菌消毒 ③ソーシャルディスタンス (着替え場所と浴場の湯ぶね) ④露天風呂あり	○ 37, 0℃以上ある方は遠慮いただく。 ○ 着替える場所が密にならないよう！ 時間を調整して、後で入る。(時間差)
外出	①外出は1時間以内！ ②三密のお店には行かない。	○ 毎日午後13時15分頃バスを出す。